

五十鈴の風

平成19年10月発行
発行：市立伊勢総合病院

安心していただける医療を

- 新任医師の紹介・・・・・・・・・・ よろしくお祈りします
- 院内各科紹介・・・・・・・・・・ 泌尿器科
- 院内トピックス・・・・・・・・・・ 患者満足度アンケート調査結果
病院まつり
- 院内部署シリーズ・・・・・・・・・・ 医療相談室
- 健康メモ・・・・・・・・・・ 体の中に石がある！ 胆石症とは？
- 放射線室通信・・・・・・・・・・ DSA装置
- 栄養管理課だより・・・・・・・・・・ 肥満は、「万病のもと」



「小雨時の伊勢大祭り」 金子和正氏（伊勢地区医師会カメラクラブ）撮影

市立伊勢総合病院
の基本理念

患者様の立場より
病院機能の立場より
地域医療の立場より

愛情と責任を持ち、安全で安心していただける医療
良質かつ高度の医療
円滑かつ密な機能分担、合理的かつ効率的な医療

新任医師の紹介

よろしくお願ひします



仲尾 貢二 (脳神経外科)

出身地: 愛知県 **出身大学:** 三重大学 **前住地:** 紀南病院脳神経外科 **特技/趣味:** マラソン、ピアノ(40才から) **好きな言葉:** 「好きな言葉」といふより自戒の念をこめてです。「少年老い易く学成り難し」40才を過ぎて切実なる心境です。「一寸の光陰軽んず可らず」まだ間に合うと実践しましょう。 **一言:** 前住地の紀南病院から脳神経外科が撤退することになり、伊勢に参りました。伊勢の地は研修医からの3年間を過ごした場所であつかく感じています。私の赴任で3人体制となり、かつフレッシュな陣容です。地域に愛着を持って堅実に仕事をこなしてゆきたいと思ひます。



山崎 正禎 (神経内科)

出身地: 三重県度会郡大紀町 **出身大学:** 三重大学 **前住地:** 三重大学医学部附属病院 **特技/趣味:** 格闘技観戦、映画鑑賞 **マイブーム:** ものまね **一言:** 研修医のときにお世話になった市立伊勢総合病院にまた帰ってきました。今度は神経内科医として帰ってきましたが、まだまだ未熟者ですので、ご指導のほどよろしくお願ひいたします。



刀根小百合 (外科)

出身地: 三重県松阪市 **出身大学:** 近畿大学 **前住地:** 加古川市民病院 **特技/趣味:** インターネット **モットー:** 一日一善 **一言:** 一生懸命がんばります。どうぞよろしくお願ひいたします。

院内各科紹介

泌尿器科



泌尿器科は外科系の診療科であり、手術で治療できる疾患を取り扱ってきました。対象となる臓器は、腎臓、腎盂、尿管、膀胱、尿道などの泌尿器、前立腺、精囊、精巣、精巣上体などの生殖器、そして副腎、上皮小体などの内分泌器官です。

高齢化社会と食生活の変化により、治療の対象となる主な疾患は癌、尿路結石および下部尿路通過障害を症状とする疾患となっています。

薬剤などで治療効果のない疾患に対しては手術を行います。手術方法は開放手術、内視鏡手術、体外衝撃波結石破砕術、そして体腔鏡下手術がありますが、当科では前三者を行っています。

腎癌、腎盂癌、前立腺癌には開放手術を、膀胱癌や前立腺肥大症には経尿道的な内視鏡手術を、腎結石・尿管結石には体外衝撃波結石破砕術を行っています。

この数年間では、尿路結石に対しては体外衝撃波結石破砕術、膀胱癌には経尿道的膀胱腫瘍切除術(内視鏡手術)、前立腺肥大症に経尿道的前立腺切除術を、前立腺癌と腎癌に対しては前立腺全摘出術や腎摘出術の開放手術を行っており、これらの手術が大部分を占めています。

以前五十鈴の風第6号に掲載した泌尿器科の記事と比べますと、伊勢市の老人健診のおかげで前立腺の疾患が多くなりました。医師は3人より2人となり梅田と堀内(日本泌尿器科学会認定指導医)で診療をしています。日常の診療では患者の皆さんに治療の目的と内容を十分に説明し、信頼を得て、質の良い医療サービスを提供できるように日々励んでおります。

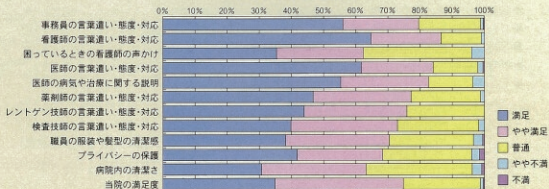
(泌尿器科医長 堀内英輔)

院内トピックス

患者満足度アンケート調査結果

6月に実施しました患者満足度アンケートの結果がまとまりました。このアンケート調査は、平成19年6月11日から6月15日にかけて当院の外来患者さんを対象に実施したもので、回収枚数は297枚(回収率99%)でした。この調査結果をもとに、スタッフ全員がよりいっそう患者さんに目を向け、積極的に声かけを行い、少しでも患者さんの不安が少なくなるよう努めていきます。

アンケート調査結果



アンケート結果より

当院の満足度は、満足・まあ満足を合わせて75%で、7割以上の外来患者さんに評価をいただきました。特に、看護師の言葉遣い・態度・対応に関しては、満足・まあ満足が86.7%と高い評価をいただきました。しかし、「困っているとき看護師からの声かけがあるか」の問いには、満足・まあ満足が62.5%と低く、困難を感じていない患者さんがいるとしても、気配り、目配りが不足しているといえます。

ご意見より

「現場が慌しく怖い」、「早口で聞き取りにくい」などの声がある一方で、「初診でしたが、受付の感じはよかった」など評価のご意見もありました。

プライバシーに関しては、家族・知人であっても話すべきでないといったご意見もあり、守秘義務の遵守、各診療科での配慮を徹底します。

また、お礼のお言葉や感謝に関するものもたくさんいただき、スタッフの励みにしていきます。

(CS委員会)

病院まつり

10月6日(土)に病院まつりを開催しました。4回目となる今年は、500人を超える多くの皆様のご参加をいただきました。病院内のいろいろなところを見て、聞いて、知っていただき、楽しい病院まつりとなりました。どうもありがとうございました。



病気やけがなどで病院にかかる時、健康なときにはなかったようなさまざまな問題や心配ごとが生じることがあります。医療相談室では専門の相談員（医療ソーシャルワーカー）2名が、患者さんや家族と共に考えながらそれらの解決のお手伝いさせていただいております。



例えば……

- 医療費の支払いが不安な時
- 退院後の生活、社会復帰に不安があるとき
- リハビリテーション病院、療養病院などの転院について知りたいとき
- 福祉施設、医療施設などの利用について知りたいとき
- 社会福祉制度の利用について知りたいとき
- その他

相談内容については、秘密を厳守いたします。相談室は外来診療棟2階の一番東側になります。どうぞお気軽にご利用ください。

（医療相談員 西岡豊美）

健康メモ

体の中に石がある！ 胆石症とは？

はじめに

胆石症は胆汁の流れ道である胆道（胆嚢や胆管）に石ができる病気です。胆嚢にできた石を胆嚢結石、胆管にできた石を胆管結石といいます。近年食生活の欧米化、すなわち脂肪摂取量の増加により肥満・高脂血症・糖尿病が増えてきており、胆石の形成にも主にこのようなコレステロールの高い食事が関係しているといわれています。



症 状

胆嚢結石…自覚症状がない胆石を無症状胆石（silent stone）と呼び、約8割を占めます。典型的な症状としては、食後、特に脂っこい物を食べた数時間後に生じる右上腹部痛ですが、時には心窩部痛（みぞおちの痛み）として、あるいは右背部や側腹部の鈍い痛みが症状となることもあります。胆石により生じる痛みを胆石発作といいます。発作は繰り返すことが多く、また細菌感染により胆嚢炎をきたして重症化することもあり、注意が必要です。

胆管結石…上腹部痛に加え、黄疸や褐色尿がみられます。胆管炎を合併すると発熱がみられ、ショックや意識障害を起こすこともあり、注意が必要です。

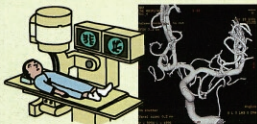
治 療

胆嚢結石では腹腔鏡下胆嚢摘出術、胆管結石では内科にて内視鏡的乳頭括約筋切開術を行った後に、腹腔鏡下胆嚢摘出術を行うのが、当院での標準的治療法になっています。（詳しいことは、外科医にお尋ねください。）胆嚢結石では有症状例は治療の対象になりますが、症状がなくても、胆嚢癌の可能性がある場合は手術の適応となる場合があります。胆嚢結石のある患者さんは、年1回、かかりつけ医と相談し、超音波検査をうけて経過を見ることが大切です。また、手術を希望される方は、外科を受診され、担当医と相談してみてください。

（外科医長 湯浅浩行）

DSA装置は、テレビカメラに写し出されるX線画像にコンピューター処理を施し、血管以外の骨などの障害となる画像を差し引くことにより血管のみの画像を得ることができる装置です。従来のX線フィルムを使用する方法に比べ、少ない造影剤でコントラストの良い（診断しやすい）画像を得ることができます。しかも、撮影と同時に画像を観察することができ、検査が素早く行えます。DSA装置で撮影された画像を元に3次元画像を作成し、診断や治療に役立てています。

最近では、血管撮影装置を使ったIVR（外科的手術をせずに血管造影検査の技術を応用し治療する）の飛躍的進歩により、脳動脈瘤、脳動静脈奇形、腰部腫瘍に対しては血管塞栓術、急性期脳梗塞に対しては血栓溶解術、血管閉塞には血管拡張術にも利用されています。即ち、検査だけでなく治療も行えるようになりました。



栄養管理課だより

肥満は、「万病のもと」

生活習慣病の予防は、肥満の予防から①



近年、日本では肥満者が増加しています。肥満は、生命をおびやかす生活習慣病と密接に関係しています。肥満を予防するため、食生活で特に見なおしていただきたい点について、シリーズで考えてみたいと思います。

食事の内容

■ エネルギーをとり過ぎない

特に脂肪をとり過ぎないようにしましょう。肉は脂の少ない部位を選び、調理段階で脂を落とすなどの工夫が必要です。また、食物繊維の多いものをとって、しっかり噛むことで満足感が得られるように工夫しましょう。

■ いろいろな食品を食べる

食品に含まれる栄養素はチームワークで働くので、多種類の食品を食べることが大切です。毎食主食、主菜、副菜をそろえるようにすれば、おのずと食品の種類が多くなります。

■ 野菜・海藻・きのこをたっぷり

食物繊維は腸の動きを活発にし、体内の有害物質を排出する作用があります。また、これらの食品は低エネルギーであり、料理にボリューム感をもたせてくれます。

■ たんぱく質をしっかりとる

たんぱく質は、内臓や筋肉を作る大切な栄養素です。肉に偏らず、魚や豆腐などの大豆製品、卵からもとるようにしましょう。

■ 飲酒は適度に

アルコールはエネルギーが高いだけでなく、体内で脂肪ができるのを促進します。また、食欲を増進させ、食べ過ぎの原因になるので、飲み過ぎないように気をつけましょう。